

2015年度 一般②

災害弱者と言わせない !!

香川県立盲学校のチャレンジ II



はじめに

●人間の得る情報の8割は

視覚からの情報によるものとされています。

みなさん、目を閉じたままで家の中を歩けますか？

もしもの時、この会場から避難所に移動できますか？

新聞・テレビなどが見えなくなったら、どうやって情報を集めますか？

視覚障害 について少し ご説明させていただきます

全盲の方 まったく光を感じない方

光の方向をある程度感じる方

弱視の方 いろいろな見えにくさのパターンがあります

全体に暗い

視野に欠けた部分がある

全体にハレーションがあるetc

3

視覚障害者のいろいろな見え方の例



全体に暗い



見えない部分がある



部分的には見える



明るすぎる

全盲
no image

そして
夜盲
no image

4

歩行訓練でイメージを覚えてから街に出ます

白杖(はくじょう) 点字ブロック

車の往来の音の方向を感じ取り歩行者信号の色を考えます

警戒ブロック

音

匂い

盲導犬

食事は1日1度
吠えない トイレは限られた時間と場所
ユーザーさんとのコミュニケーション
大変な訓練を経て現役に

しかし万能ではない

お困りでしたら
お手伝いしましょうか？



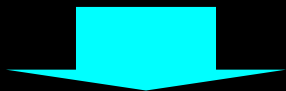
困ったな 迷っちゃったよ

「手引き」しましょう

視覚障害のある生徒たち

- 生徒...誰かに何とかしてもらえろ 何とかしてくれるまで待つ

これがあたり前でした



このチャレンジを通して

- こんなことができることが分かった
- 自分でできることは何だろう やってみようか

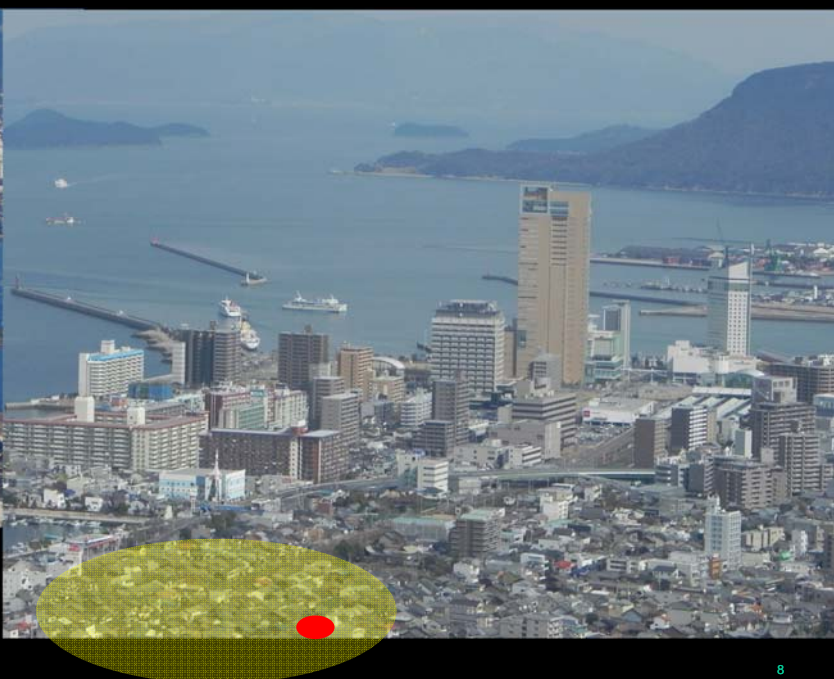
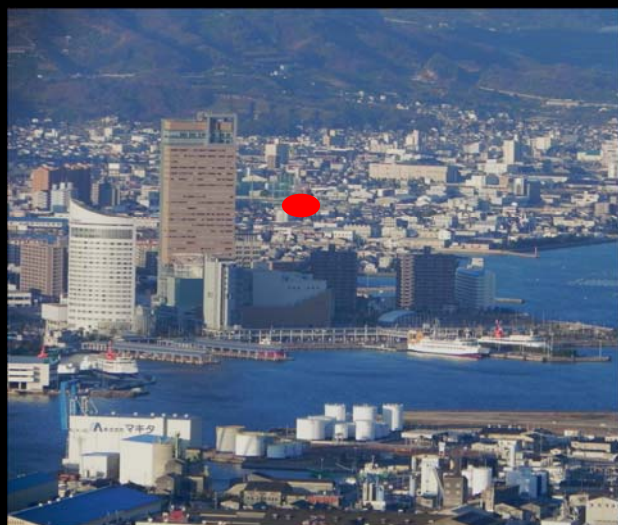


⇒もしかしたら人のために、こんなことが役立つかも という気づきに

そのような2年間のチャレンジのご報告です。

香川県立盲学校

香川県高松市です





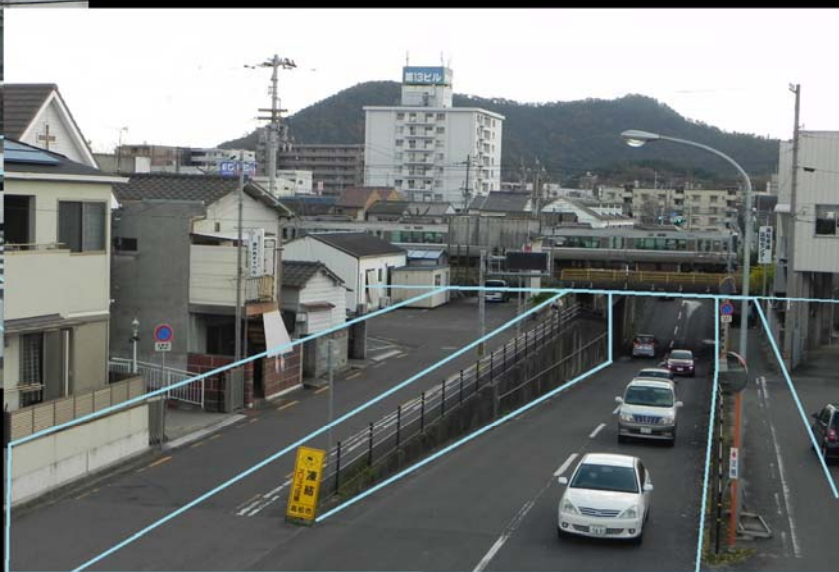
西浜漁港と古い町並みが残る地域
夜間、漁船のエンジン音、漁港の灯台の明かり
19時を過ぎると人通りが絶え、暗く静まり返る

9

2004年 高潮災害では、深夜に車が何台も流されてきた近くの道路



参考までに
浸水高を、線で示してみました



ここでは 亡くなった方も

10

なぜ 盲学校で 防災教育なのか...!?

「南海トラフ地震」は、ほぼ百年おき 昭和南海地震から81年目

盲学校

- 最大震度6強 液状化 最大津波高3m 浸水高 1m
- 木造家屋密集 西浜漁港まで200m 火災も心配
- 広域避難所まで600m 浸水とがれきの中を避難できますか(・・・?)
- 私たちは昼も夜もここで生活 生徒3~63歳の半数が寄宿舍で生活

今の命を守ることはもちろんだけど、将来君たち、どうするの ?

11

災害に遭遇、or 遭遇しないために行動できる力を

- 助けてもらえることを前提にした減災・防災では だめ
- 盲学校の役目は、生徒が自立した時を見通した 防災教育

共助・公助の前に自分でやるべきこと

- 分かりやすい、手軽で楽しい防災教育を目指そう
- 学校教育と併せ、地域防災の核になる役目も
学校教育と生涯学習のつなぎ役 生徒にも地域にも還元できるもの

12

生徒の実態 見えにくさが原因

やったことないし 体験不足 危ないからやっちゃダメ規制

大人からの過度な？ 配慮

広島のと砂災害のニュース知らない

テレビ見ないし 見えないし

新聞の文字、見えないし

防災リテラシー

情報リテラシーの課題

13

でも見えにくさを補う 鋭い感覚が
君たちにはあるじゃないですか

人の近づく気配 匂い
音の高さや方向の感覚…

「五感」がとても鋭いことを
防災に生かせないだろうか

14

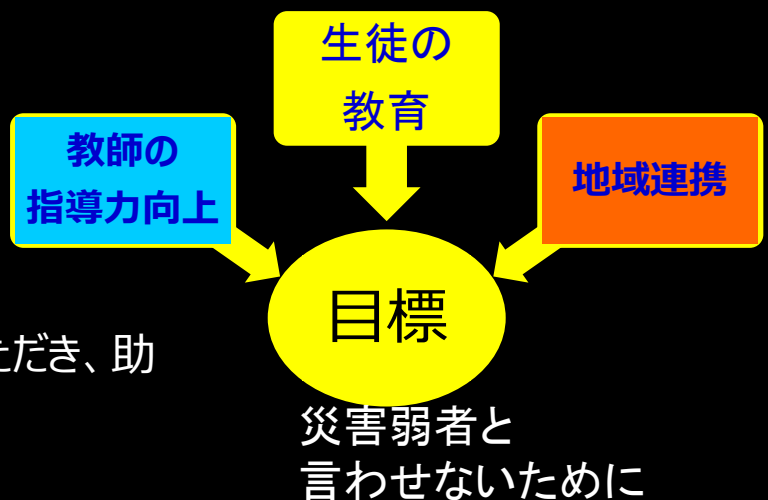
大人にも課題が

- 台風や地震など自然災害の強大な力と怖さ
- ハード面が整備されて、対応を忘れてしまっている
- 95年こども白書 小6の半数以上がテレビゲームに
- 30台前半の大人まで 「外遊び」体験の激減
- 自然とのふれあい 「基地ごっこ・砂遊び」など
子供たちに経験として語れない大人の増加

15

香川県立盲学校が目指した 3つの方向からのアプローチ

- 社会に出ていく生徒たち
要災害支援者にならないために
知識 + 体験的な学習の推進
- 教師が何をどう伝えるか
職員研修の充実
- 地域の方に「盲学校」を知っていただき、助け合える体制づくり 地域連携



16

体験的な防災学習 五感で感じる土砂災害

五感で土砂の特徴を知り



土砂災害の仕組みを学ぶ



防災の日 ダンゴムシのポーズを



こんな形だよ 触ってみて！



防火扉の仕組みを触って理解する体験

- ・ 防火扉は閉じてしまうと鉄の壁だけ
- ・ 向こう側に押して開けると安全な「防火区画」に

いろいろな素材を燃やしてみる体験

- ・ 木の枝、レジ袋、食品トレー、カーテンを燃やすと真っ黒なススやいやな臭い 有毒ガスも発生 ？

廊下に立ちこめた煙の中を避難する体験

- ・ 煙の中では、息苦しい
- ・ 普段頼りのわずかな光も感じなくなる
- ・ 方向が分からなくなり不安
- ・ 「手引き」をすると煙を吸う？
- ・ 音や手すりが頼りになる

視覚障害の有無で
避難時に頼る物が変わってくる
視覚障害者 音
晴眼者 手すり
ガイドロープはどちらにも有効か

体験的な防災学習 五感で感じる煙の怖さ

防火扉の仕組み 触って体験



素材ごとの煙の匂いを体験



体験的な防災学習 五感で感じる煙の怖さ

廊下に煙を充満させて

高松市北消防署のご指導



ふだん以上に
見えにくくなるね



煙やススを吸わないこと
が大切です

21

体験的な防災学習 五感で感じる煙の怖さ 体験の前に

事故があっては困りますから

念入りなりハーサルも



22

香川大学工学部 藤井研究室との連携

幹線 …太さ9mmが分かりやすく痛くない
ローカル線 …細く



いろいろなタイプの実
証実験
→ インテリア学会に



きらきらテープ色違いで

蓄光塗料で自発光するタイプ

23

教員の指導力向上のために 講演会

香川大学 長谷川教授

必ず地震は来る 道路は壊滅するよ
視覚障害者支援センター 中口さん
視覚障害者は自分でできる備えを

香川県防災センター

地震の揺れ、消火、防災理論などを学ぶ



24

香川大学危機管理研究センター 職員研修



学校現場のいろいろな被災状況が再現できるシミュレーター体験
暗闇の中で障害物や余震に対応する実践的な避難誘導の体験
記録映像を見て自分の行動を振り返り→ 学校の防災訓練に発展

25

職員研修の応用 香川大学の「知的財産」を学校に



障害物の中を避難する体験 香川県シェイクアウト プラスワン

26

地域との連携

総合防災訓練

困ったときはお互い様の気持ちで

助け合いましょうよ

生徒さんの実態がよく分かりました



27

地域との連携 防災合宿



寝台特急の「のびのびシート」



B寝台



28

地域との連携 防災合宿
防災備蓄のある盲学校に、
地域の避難困難者の受け入れを視野に



地域との連携 防災合宿



ご飯 できたかな



NTT西日本の協力による避難所への
特設公衆電話
衛星電話による
「もしもし はいはい」

体験的な学習の例 防災合宿 街歩き探検隊 地域の方と共に災害の歴史を検証 防災合宿

2004年 ここまで高潮がきたんだよ

道の狭さやブロック塀が気になるね



31

香川大学の「知的財産」を学校や地域に 防災合宿



屋外で風を感じながらの学習



1.5mの浸水でここまで来ます
たいへんですね

32

香川大学の「知的財産」を学校や地域に 防災合宿



ガイドロープ実証実験

33

成果と課題

- ・ 生徒たちの心の中に
助けを待ってるだけじゃだめだ
自分でできることはやってみよう
- ・ 周りの人を思いやる気持ちも
- ・ 地域の方たちの盲学校の理解
花いっぱいや学校行事に来校してくださるよう
しかし、盲学校としての限界も 利益相反の課題
こちらをたてればあちらが立たず 優先事項は何？

34

社会への発信 2014年度 防災シンポジウム 各界の障害者施策を



2015年度 学習成果発表会



災害弱者と言わせない！！ 香川県立盲学校のチャレンジⅡ

2年間 ありがとうございました。
視覚障害者の安全な暮らしの構築に向けて、全国に発信
してまいります。

